

『Mercato 原稿』(3500 字)

NPO による地域情報化の在り方・進め方

第 1 回 地域ソーシャルキャピタルとしての NPO 活動

山梨大学名誉教授・関東 ICT 支援 NPO 連絡協議会代表幹事

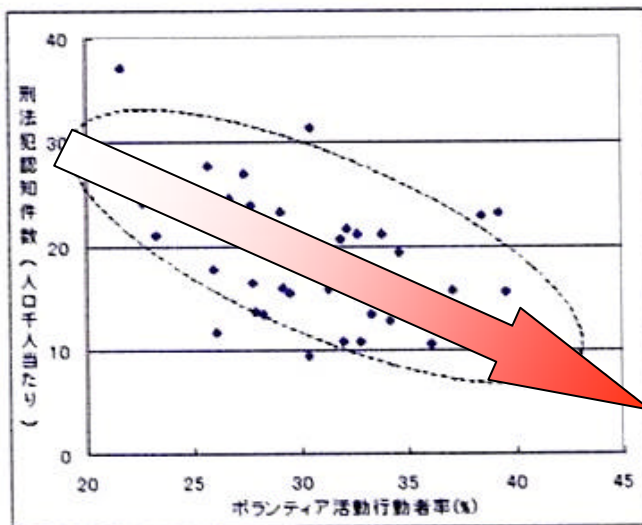
伊藤 洋

1. 社会病理の特効薬

「石川や浜の真砂は尽きるとも世に盗人の種は尽きまじ」。文禄3年(1594)8月24日、稀代の大盗賊石川五右衛門は、京都三條河原で一族郎党19人と共に釜ゆでの刑に処せられました。一首はその折の彼の辞世です。五右衛門のこの予言どおりと言うべきでしょうか、近年、凶悪犯罪が隣り近所で激増しています。

実は、全国統計で見ると凶悪犯罪件数は減少しているのです。それなのに人々を不安に陥れているのは、「大事件」が閑静な住宅街において起こっているからに他なりません。一時代前なら、こんな事は大都市の真ん中で起こったこと、それを新聞かTVで他人事として傍観していればよかったです。それが今や自分たちのごく身近な場所で発生し、明日はわが身の不安を感ずるようになりまし。

こんな不安をよそに、それとは正反対の明るい調査結果があります。ソーシャルキャピタル量を横軸にとり、犯罪認知件数を縦軸にとると確実に反比例関係があるということです。それを表したものが下の図です¹。



いま多くの自治体が急激な人口減少に悩まされています。この原因は出生率の低下です。これについても、ソーシャルキャピタルの充実している地域では、出生率が高いという「朗報」があります。かてて加えて、失業率までもが、ソーシャルキャピタルと反比例関係にあることが分

かっています。なんと、現在の社会病理の特効薬はソーシャルキャピタルだというわけです。

2. ソーシャルキャピタルとは

ソーシャルキャピタルとは、アメリカの政治学者ロバート・帕特ナムによって提唱された社会学的概念です。彼は、ソーシャルキャピタルとは人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率性を高めることのできる「社会的信頼」・「互酬制の規範」・「社会的なつながり」といった社会組織の総称である、と定義しています。

まず「社会的信頼」とは、地域における人々の間にある信頼感のことですが、実は地域、特に過疎に悩むような地域では人々の間の信頼関係は実に濃密で問題がなさそうです。しかし、パットナムが言う「社会的信頼」はこれとは少し違うのです。伝統的な厚い信頼関係というものは、知って知っている人々の間では濃密で心地よいのですが、その反動として知らない者に対する排他性が裏打ちされているはずだというわけです。ソーシャルキャピタルで要求される要素は、知らない人に対する薄い信頼感に他なりません。

元禄2年(1689)陰暦5月12日は朝から快晴の五月晴。芭蕉と曾良の二人は、松島から石巻へと『奥の細道』の旅を続けていました。好天に恵まれて気温も上がリ、鳴瀬川を渡る頃にはすっかり喉が渴いていました。そこで、街道脇の民家に水を所望したのですが、人々は二人を警戒して水をくれません。困っている二人に手をさしのべたのは伊達藩の侍コノ源太左衛門という人でした。彼は、自分の案内が近くにあり、そこで水をもらおうと、二人を案内しました。また、今夜の宿として、石巻市内の旅宿「四べえ」を紹介してくれもし、二人はここに泊まることができました。それなのに、芭蕉は『奥の細道』に、こう書きました。

「十二日、平泉と心ざし、あねはの松・緒だえの橋など聞伝て、人跡稀に雉兔菟蕘の往かふ道そこともわかず、終に路ふみたがへて、石の巻といふ湊に出。(中略)思ひかけず斯る所にも来れる哉と、宿からんとすれど、更に宿かす人なし。漸まどしき小家に一夜をあかして、明れば又しらぬ道まよひ行。(後略)」

これぞまさしくパットナムの言う「社会的信頼」そのものではないでしょうか。すなわち、矢本界限の人々には、社会的信頼を醸成する要素が欠乏していたと芭蕉に書かれてしまったのです。なお、社会的信頼の確立されている地域では、道普請のようなムラ社会的労働供出に加えて、近代的なボランティア活動が盛んだとも言われています。

次に、「**互酬制の規範**」についても説明しましょう。朝晩激しい交通渋滞の中をイライラしながら通勤しているAさんの町では、交通事故の多発に加えて排気ガスや粉塵公害で環境破壊はすでに住民の健康を蝕み始めてさえいます。それだけではありません。鉄道があるのですが、乗る人が減って大赤字。鉄道会社はその対策に間引き運転。今では2時間おきにしか走りません。バスはとっくに消えました。

これでは地域社会は崩壊すると考えたAさんは、車通勤を止め、ガラガラに空いている朝の通勤電車に変更しました。するとどうでしょう。本は読めるは、イライラは無くなるは、足を使うので食事は美味しく、中性脂肪も減って、

血圧も下がったので投薬を止めました。これを聞いた友人が俺も我もと A さんの真似をして電車通勤を始めたので、今では A さんを会長とする「線友の会」までできました。おかげで町の健康保険財政は改善され、交通渋滞も緩和され、空気は心なしかきれいになりました。A さんの起こしたささやかな「利他的行動」、これこそが互酬制の規範と呼ばれるものの中身です。

最後に、「社会的なつながり」です。伝統的な社会的ネットワークには様々な姿があります。まず、その性質で分類すると、強い「結合型」のものがあります。人種、民族、宗教などはその典型的なものです。いま、国際社会で最も不安定を作り出している要素でもあります。それに対して、「橋渡し型」のネットワークがあります。環境団体、産業クラスター、マッチングファンド等々、カタカナが多用されるようなネットワークに多く見られます。

形態から見た場合には、「フォーマル」なものと「インフォーマル」なものがあります。前者としては、PTA や農協・商工会など業界団体、労働組合などが相当しますが、それに対して、少年サッカークラブだの、趣味のサークルだの、肩書きを誇るようなものではない「インフォーマル」な形態があります。

その集団の「志向」も、損か得かで判断するような自らの内部へしか向かわない志向と、それとは正反対に NGO(非政府団体) や NPO(特定非営利活動法人) のようにあくまでも外部へ志向するネットワークとがあります。

ソーシャルキャピタルとして奨励されるのは、言うまでも無く「橋渡し型」で、「インフォーマル」で、「外部志向」であるものを期待するのです。そして、「社会的つながり」の結合の「程度」は身内やムラ社会内部のような「厚さ」を示さず、知らない人へ向けてする相槌のような「薄い」程度が期待されてもいるのです。

このように、「社会的信頼」・「互酬制の規範」・「社会的なつながり」が相互に三角形に結ばれた社会的関係性をソーシャルキャピタルといい、伝統的な社会資本の上位概念として期待されているのです。ソーシャルキャピタルの蓄積された地域社会では、人々は NPO 活動やボランティア活動、慈善活動に多くの時間を割くようになって、社会的な潤いが増し、犯罪が減少し、子供が増え、失業が減少するというわけです。

3. NPO とは

ここまでを序として、NPO の話を始めましょう。ジョンズ・ホプキンス大学国際比較研究プロジェクトが行った NPO(Non-Profitable Organization) の世界的な定義では、法定の組織であり、政府組織の一部を構成せず、組

織の理事に利潤を分配せず、自律的に運用されていて、公共の目的のために自発的に活動している組織であること、です。

わが国では、特定非営利活動促進法に準拠して活動が規定されています。以後2回にわたって、この法律に記載されている「情報化社会の発展を図る活動」に関する関東地域のNPO活動の一端を紹介させていただきます。そこでは、地域におけるソーシャルキャピタルを、ICT環境の形成を通じて蓄積して行こうという悪戦苦闘ⁱが紹介されるはずで、共同募金の人口当たり醸金額の全国第1位は秋田県、2位が岩手県です。この事実は、東北地方にソーシャルキャピタルを蓄積する社会的基盤が十分にあることを伺わせます。さればこそ、このささやかな報告が、本地域の皆さんとの「社会的つながり」へ発展することを楽しみにしています。

ⁱ 「ソーシャル・キャピタル：豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」(平成14年度内閣府発行)より。図の横軸はボランティア活動行動者率ですが、ソーシャルキャピタルの定量化に密着した概念と考えられています。